

やめよ！徳山ダム

徳山ダム建設中止を求める会通信

No. 12 (97. 8. 28)

事務局 ☎ 0584(78)4119

大垣市本町2-27 FAX 0584(82)4119

強制収用は許さない（徳山ダム水没予定地）

建設省・公団、本格着工に向けて始動

水資源開発公団は、「本体着工を視野に入れた」徳山ダム建設費125億円の概算要求を行うと同時に、水没地の強制収用手続きを日程に上せようとしている。「ダム建設はやめよう」という当然の声が高まる一方で、ダム建設推進勢力は時代錯誤の“最後の悪あがき”を強めている。強制収用という強権的手段は許さない！ すべての市民の声を結集しよう！

抗議声明

水資源開発公団は、8月26日、「徳山ダムの本体着工を視野に入れた」概算要求を行った旨を発表し、同時に公式に「強制収用」に言及した。

新たな水需要は存在せず、主要な建設目的である「新規利水」が破綻していることは明白である。また、流域住民の安全を図るという「徳山ダムを中心とする揖斐川治水計画」は、揖斐川最上流部の巨大ダムに洪水調節のほとんどすべてを負わせた上に、その効果を表す数字は辻褄が合わないという、危険でズサンなものである。「見直し」と称して建設省が設置した「徳山ダム建設事業審議委員会」はこれらの重要な問題を論議せずに「早期完成答申」を出した。建設省・水資源開発公団は、その答申を受ける形で、本体工事を強行しようとしている。私たち徳山ダム建設中止を求める会は、重要な問題をすべて覆い隠したまま、納税者に長期にわたる重い負担（現時点で2840億円。完成時にはその数倍となる）を押し付けようとしていることに強く抗議する。

建設省・公団は、本体着工を強行するため、任意交渉に応じない水没予定地の地権者に対しては「強制収用」を行う考えを示した。これは「公益」を盾に取った強権発動などはもはや許されるべきではないと考える時代の流れに逆らう暴挙である。

建設省・公団及び関係省庁・自治体は、ダム集水域の森林の状況を把握することなく、森林が破壊されるに任せている。このことにより、揖斐川流域住民の安全が日々脅かされ、大型猛禽類を初めとする貴重な生物の棲息が脅かされている。

今回の「本体着工に向けての概算要求」は、国民に大きな経済的負担を強い、環境を破壊する攻撃であり、無駄な公共事業による財政破綻と自然破壊による人類生存の危機から未来を守ろうと立ち上がっている多くの市民に対する挑戦である。

私たち「徳山ダム建設中止を求める会」は、建設省・公団の「徳山ダム本体着工・概算要求」に強く抗議するとともに、政府がこれを予算案に組み入れないこと、国会がこの予算を承認しないことを要求する。同時に、広く市民の皆様に「こうした予算は認められない」意思を表明することを呼びかける。

徳山ダム建設中止を求める会 代表 上田 武夫

藤橋村長に公開質問状 藤橋村戸別ビラ入れ

徳山ダムをめぐる不透明なダムマネーの動き。前号でお伝えした「藤橋村騒動」の真相はまだ明らかではありませんが、事務局が得た情報では「島中村長が、島崎村議の提訴（寺の移転補償の二重払い問題）を妨害する… “口封じ” …ために、大阪・萬商商事と業務委託契約書を交わした」という一部報道は事実のように思われます。（萬商商事の説明=「“口封じ” の業務を履行したのに、島中村長は契約通りの金を払わない。業務契約は破棄されたから、島崎さんにも自由にやってもらって… 島崎村議は6月17日に提訴…、我々は嘘つき村長をやめさせるために頑張っている。金の問題ではない。世直しだ」）。7月22日に出直し村議会選挙告示。6名の立候補で無投票当選となりました。「村長派4名、反村長派2名」だそうです。

長はこの契約書について、村とともに債務不存在の確認を求める訴訟を岐阜地裁に起こしているとして、訴状より踏み込んだ説明を避けた。

今回の議員全員協議会は、一連の問題について村長の説明を聞くため、今月一日の出直し村議選後の初議会の際に、開催が申し合はれていた。

約書には「業務遂行により得られた利益を両者で折半する」契約内容を互いに公表しないことを確約する」とあるが、これはどういふ意味なのか説明してほしい」と、村長の答弁を求めた。しかし、村長は「成った。協議会終了後、追及した側の島崎氏は、一実りのない協議会だった。しかし、村民が

島中村長にはこの異常な事態を招いた責任があります。8月11日に、村内・村外を問わず、事実関係を明らかにすることを要求して公開質問状を出しました。キャンプ帰りの17日に、有志で藤橋村戸別ビラ入れを行いました。翌日早速、藤橋村の方から賛同のお電話を頂きました。

「徳山ダムは要らない」

シールステッカー [9/12完成予定]

1枚200円 (広めて頂けると助かります)

20枚・3500円、50枚・7200円、

100枚・12000円

8/14

『裁判の場で明らかに』

藤橋村長の不明朗な業務委託契約

議員全員協で村長答弁

村長が大蔵の蔵書会社
長と不明朗な業務委託契約
書を結んだことに端を発し

島崎氏は一実りのない協議会をつた。しかし、村民が及した側に述べた。

を受けた島中村長は「闇
つもりはないが 契約書
について訴訟を起こして
り、裁判の場ですべてを
らかにしていきたい。訴
で示した経緯などの内容
ついては、すでに区長な

す。
求めしていく。少なくとも私は
に一回くらいは、このよう
な場を持ちたい」と話した。
この問題では、商事会社と
社長側が持つ契約書に、純
山ダム建設に絡む寺移転基
地。

納得する回答を得られるまゝ問題に反対する村議の「



契約書問題について村長に説明を 求めた全員協議会=藤橋村役場

二これまで明確な説明はして
いない。

で、六人が無投票当選した。今月一日に開かれた議会の席で、村長は一連の問題に對して陳謝したが、

自主解散。七月二十一日告示された出直し村議選

題で、六月二十七日、村
不信任案を可決した直後

長と社長との間で意見が
立している。議会もこの問題

内容が手書きで追加されており、偽造されたとする

大垣市から藤橋村への八千万円プレゼント

藤橋村での不透明な「ダムマネー」が問題になっていますが、大垣市でも「今年度予算で3500万円、2年間で8000万円の藤橋村へのプレゼント」が予算化されました。6月27日の藤橋村・村長不信任可決の報を聞いて、事務局は、早速予算の凍結と撤回を申し入れたところ、「6月26日の市議会特別委に諮って、9月定例議会で減額補正することになった」とのこと。「まずいから引っこめた」で済むことでしょうか。なぜこういうものが議会を通って

徳山ダムの建設が進む岐阜県揖斐郡藤橋村が、水源地活性化事業「道の駅」の関連施設として計画している直徑三十㍍の「交流ドーム」に、同県大垣市が八千万円を助成することにして

7/26 朝日
藤橋村ドーム

助成中止決める

大垣市「村の計画ずさん」

材に島田敏朗村長は「根拠

なんであるようでない」と

語っていた。

大垣市では、今年度と来

年度で計八千万円を助成す

ることを決定。市議会で「財

政が苦しいのになぜ助成す

るのか」と尋ねられた市長

は「下流域にとつてダムの

恩恵は計り知れない。旧徳

山村住民の心情にも思いを

いたした」と述べていた。

その後、村は予算化せ

ず、六月議会でも補正予算

申入れたのは、「徳山

ダム建設中止を求める会

（上田武夫代表）。「伐採

でイスラムのすみかは奪わ

れ、森林の保水機能はなく

なり、周辺の安全も脅かさ

れる」と訴えている。

スラシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域

では、絶滅の恐れがあるイ

ヌワシやクマタカの生息が

あります。

岐阜地図で所有者による

森林の伐採が進んでいるこ

とについて、市民グループ

が二十五日、建設省中部地

方建設局に、「森林を守る

よう早急に措置を取るべき

だ」と申し入れた。同地域</p

徳山村キャンプ…盛会でした

雲間にのぞいていた月が山の端に隠れても、なお灯なしで歩ける明るさ。自然の持つ豊かさを改めて感じさせてくれたキャンプの夜でした。新聞報道でキャンプを知った方、峰の向こう（福井県）からの方を含め、23名が参加。未明にキャンプ地からそう遠くないところでアカショウビンが鳴いていたようでしたが、半分夢の中、定かではありません。冠山登山は残念ながら霧の中。登山をせずに朝ごはんの支度をしていた人はオオタカのつがいを見ることができたようです。

こうした場所を、誰も必要としていない巨大ダムの底に沈めないで！ 来年もまた次の年も、ずっと先まで、皆でキャンプを楽しみたいものです。



次回 運営委
9／6 (土)
13時～ 於：事務局

8/23 摂斐川水系「建設で水質悪化」
漁協、揖斐川上流漁協、揖斐
中部漁協、根尾川筋漁
協、西濃水産漁協、養老郡
漁協、牧田川漁協、海津郡
漁協で、組合員は計約八千
三百人。

同対策協による、揖斐
川水系には現在すでに横山
漁協で、組合員は計約八千
三百人。

参加したのは、久瀬村漁
協、揖斐川上流漁協、揖斐
中部漁協、根尾川筋漁
協、西濃水産漁協、養老郡
漁協で、組合員は計約八千
三百人。

小川会長は「建設省など

が、今後さらに徳山ダ

ムなど四つのダムの新設が

計画されている」と指

小川会長は「ダム建設で

減少を防ぐ河川維持措置対

策や汚濁防止、魚道の建

設、魚類増殖対策などを建

立たなくななる」と嘆いてい

る。

ダム対策協を設立

8/23 摂斐川水系「建設で水質悪化」

摺斐川をめぐる動き

市民団体部

不法投棄に鋭い目

岐阜・春日村の現場視察

産業廃棄物問題などで活

動している「全国廃棄物処

分場問題全国ネットワー

ク（坪井照子会長）の大

橋光雄事務局長（左）が二十

二日、産業不法投棄が問題

になっている岐阜県摺斐郡

春日村の現場などを視察し

問題の現場は、柏川（摺

斐川支流）のわきにあり、

約五年前から産業廃棄物の

不法投棄が行われていると

して、今年五月地域住民ら

が地権者を相手取って刑事

告発している。大橋さんは、かわらなど

が見えていたことから明らかに産廃だと指摘した上、

者に話していた。

が反対運動をしている関係

に悪いものが埋められてい

る可能性が強い。関係者

は、早急な対応をしなけれ

ばならない」と述べた。

この後、摺斐郡久瀬村日

坂にある、同郡と同県本巣

郡の十五町村による粗大廃

棄物処理施設の建設予定地

も視察。

日坂川（摺斐川支流）の

設省や資源開発公團などに申し入れていくという。小川会長は「建設省などは、ダム建設で自然との共生をうたうが、水質や河川環境は悪くなるばかり。最近、アユやウナギなどが取れなくなつた。八漁協とも赤字で、アユ漁をやめる人も出ており、このままだと摺斐川の漁業は成り立たなくなる」と嘆いてい

「徳山ダム建設中止を求める会」の会員になって下さい。

年会費 1口2000円 郵便振替00800-7-31632

「育じだ」地権者反発



岐阜県揖斐郡藤橋村の徳山ダム建設
予定地=本社へり「まなづる」から

徳山ダム強制収用検討

岐阜県揖斐郡郡山町の篠山ダム建設で、水資源開発公団が二十六日、未買収の土地については強制収用も辞さない方針を打ち出したことに對し、土地先知に応じていない地権者たちからは「早く決着をつけるための『脅し』だ」と反発の声が上がった。「成程も辞さない」と強硬姿勢を見せる人もおり、最終決着までには、なお曲折がありそうだ。一方、揖斐川流域の自治体関係者は「ダムの早期建設には仕方ないこと」と、やむなしの姿勢を見せている。

自治体は「やむなし」

「公爵は『顔を見たら吸

「(強制収用を)やつたものも、他の男や女も、それを強制する権利はない」と、判決文は述べた。裁判でもうつて結構だが、裁判でも闘う」ときばり。「公団の職員は三ヶ月か半年に一度やつて来て、二十分程度す。

水資源開発公団は「土地買収に応じていない十四人の地権者は、全員が交渉の席には着いており、強硬な建設反対者はいない」としている。しかし、買収に応じない地権者の多くは、こ

これまでの交渉過程で公團に
対する不信感をかなり強め
ており、強制収用という
「伝家の宝刀」をちらつか
せることで、逆に地権者の
心をさらにかたくなにする
可能性もある。

建設中止を決めたダムもあり、徳山ダム建設中止を求める会事務局の近藤正尚さん(左)は、「一全国的に用地買収は話

公団不信に拍車

“伝家の宝刀”逆効果も

た。足を運んで誠意を見せてほしい」と不満をぶちまけた。

し合いで解決しようという
ムードがあるのに、あえて
強権的なことを言うこと自
体が許されない。できるだ
けの手段を使って地権者を
支援したい」と、強く反発

付

大垣駅発着／バーべキュー付
3000円位

秋の徳山村を訪ねる会

10月・11月の日曜日に2~3回考えています。詳細は事務局まで。